

## 県立文書館開館40周年記念展示

# 「前橋藩から朔太郎へ

## ～母方八木家と藩士諸家の文書展～」開催中！

令和4（2022）年は、詩人の萩原朔太郎没後80年です。朔太郎の母けいの実家八木家は、前橋藩主松平大和守家の家臣でした。

近年当館には、酒井家・若林家など前橋藩士であった家の古文書等も多数収蔵されています。

今回の展示は、八木家を中心に前橋藩士諸家に伝わった古文書等を通じて、朔太郎の故郷前橋とその先祖の歴史、八木家と萩原家の密接な関係の一端をご紹介します。

なお、この展示は、朔太郎大全実行委員会主催「萩原朔太郎大全2022」との共催事業です。

※ホームページにてインターネット展示も開催しています（随時更新）



八木家親族写真（三列目左から2人目が長恭、3人目が始、5人目が俊一郎、右端が萩原朔太郎、二列目左から4人目が俊一郎妻静、明治後期に前橋で撮影か、八木健次氏所蔵）

八木家親族写真（八木氏所蔵）



〔前橋城絵図〕 縦91.0cm×横97.4cm 中村卯三郎家文書 P0412 No.1

〔前橋城絵図〕（中村家文書）

- 1 日程 令和4年8月6日（土）～12月25日（日）午前9時00分～17時00分
- 2 会場 群馬県立文書館（前橋市文京町）1階展示室
- 3 費用 無料
- 4 問い合わせ先 群馬県立文書館 〒371-0801 前橋市文京町3丁目27-26（二子山古墳の西隣）  
電話：027-221-2346 E-mail：monjyo@pref.gunma.lg.jp

